

伊吹山に誓う佐枝子

きつと家族で帰つて来るからね！

春をとまつ雪

文部科学省選定

私

こんな位で負けません

今までであったこと決して忘れません

でも、

思いだしたりはしない

前をおいて生きていきたいから

私の

家族がいるから！

日本PTA全国協議会推薦
映倫青少年映画審議会推薦
青少年育成国民会議推薦
優秀映画鑑賞会推薦



人権学習教材用ドラマ



監督 黒田 義之

プロデューサー 菅田 浩

八頭司重信

脚本 三輪恵津子

音楽 森 琢磨

撮影 林 健作

照明 山北 一祝

録音 平井 清重

記録 藤澤加奈子

整音 浜口十四郎

編集 荒木 健夫

キャスト

吉本真由美

高岡 健二

石野 理央

八木 昌子

長門 勇

正司 歌江

西園寺章雄

宮田 圭子

小牧 芽美

中塚 和代

亀山 忍

井川比佐志

製作 八頭司 享

企画／滋賀県 財滋賀県解放県民センター

制作／共和教育映画社

日本PTA全国協議会推薦 青少年育成国民会議推薦
映倫青少年映画審議会推選 優秀映画鑑賞会推薦

春をまつ雪

同和問題啓発映画

文部科学省選定

製作/八頭司 享



井川 正 西園 中塚 亀山 八木 高岡 長門 吉本
川 司 園 塚 山 木 岡 門 本
比 歌 寺 和 和 昌 健 真
佐 江 章 代 芽 子 二 由
志 雄 美 忍 子 美

監督/黒田 義之 脚本/三輪 恵津子 音楽/森 琢磨 頒布価格16ミリ版 ¥220,000 ビデオ版 ¥70,000(上映時間53分)

差別された悲しみをのりこえて
支えあう喜びと愛に生きる感動のドラマ!



あらすじ

家族に反対されながらも、同和地区の青年と結婚して一児の母となり、幸せに暮っていた佐枝子。ある日、公園でセールスマンから教育図書を買った。他の人も何人か注文して、それぞれの家庭に商品が送られてきたが、郁代の家には、断り状と現金だったら販売するという手紙が入っていた。郁代は同和地区に隣接した地域に住んでいて、地区の人達や佐枝子とも、子供を通じて仲良くしていた。郁代の夫は、産廃処理の仕事をしていて、安定した収入があった。

郁代は佐枝子と共に教育図書出版社に抗議に行くが、誠意のない会社の人の対応にヒステリックになり「なんで同和地区の人に売って、私には売られへんの!？」

心のどこかに差別心があったのか、郁代は同和地区の人を差別してしまった。仲の良かった郁代の言葉に、佐枝子の心は悲しみに凍りつく思いだった。

実家では、会社勤めの兄が職場での『世間体』にこだわりをもって、佐枝子には冷たい。自分の昇進に佐枝子の結婚が関係しているのでは、と根にもっている。また、伯父夫婦は今でも佐枝子の結婚は認めていない。

父も人権・結婚相談員の説得で結婚式には出席したものの、最初のうちは、自分が許しても世間が許さないと、この結婚には反対であった。

しかし、父親である自分や家族が一步踏み出さない限りは、世間も認めないのではないかと、やがて気がつき、佐枝子の家族と実家との間は急速に縮まっていく。が……。

映画で学ぶ視点

この作品は、県内においてこれまでに取り組まれてきた「結婚相談」の具体例のいくつかをとおして、なぜ、このような結婚問題が今もあるのか、その要因や背景、とりわけ結婚成立後の課題に的をしぼっています。

そして、部落をはじめとする社会的弱者に対する差別意識を温存してきた地域や職場を舞台に、結婚相談に具体的に現れた同和問題と、県内で過去に生じた差別事件も素材として組み込み、一般的な人権問題との共通性や独自性を重ね合わせるなかで、部落差別の解消を基本においた県民相互の交流と連帯を訴えることをねらいにストーリーは構成されています。

- 部落をはじめとする、社会的弱者に対する差別意識を温存してきた地域社会の古い体質とその実態。
- 差別の現実と生活から学び、生活に生かす教育と学習の再確認。
- 一般的な理解にとどまり、差別を許さない実践的な態度に結びついていない今日の状況。
- 意識変革に向けた、人間の葛藤。
- 人権の回復に向けた、人々の願いと人間的な優しさ。
- 同和問題の解決は私の幸せ、みんなの幸せ、まちづくりの中心課題であるという展望と実践。

